

経営体育成支援事業成果目標の達成状況等について  
 (平成26年度融資主体補助型(平成26年度当初分))

平成26年度に事業を実施した5地区(継続評価地区※)の成果目標に係る平成30年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

成果目標項目	目標年度 (28年度)	目標達成状況 (上段:計画、下段:実績)	平成30年度の達成状況 (%)
		30年度	
① 経営面積の拡大	10	10 9	90.0%
② 耕作放棄地の解消	1	1 0	0.0%
③ 農業の6次産業化	2	2 2	100.0%
④ 農産物の高付加価値化	4	4 1	25.0%
⑤ 農業経営の複合化			
⑥ 経営コストの縮減			
⑦ 輸出			
⑧ 農業経営の法人化			
⑨ 雇用	3	3 2	66.7%

◆達成状況に関する本県の対応

継続評価地区の5年度目において、事業を実施した5地区で目標未達成となった。  
 目標未達成の要因は、  
 ①経営面積の拡大・・・年3回土地の情報を提供したが、希望とマッチしなかったこと  
 ②耕作放棄地の解消・・・営農地区内で耕作放棄地が見つからなかったこと  
 ③農産物の高付加価値化・・・導入する価値のある品種が見つからなかったこと、天候不順等により品質が低下したこと  
 ④雇用・・・求人をしたが応募がなかったこと  
 今後の対応策は、  
 ①経営面積の拡大・・・農地銀行や農地中間管理事業等の活用により、経営面積の拡大を進める。  
 ②耕作放棄地の解消・・・市が把握している耕作放棄地の情報を提供し、解消に取り組む。  
 ③農産物の高付加価値化・・・導入する品種を具体的に2品種検討。関係機関からの継続的な栽培管理指導による品質向上。  
 ④雇用・・・再度募集を実施し雇用内定。  
 県としても、早期に目標を達成し、事業効果が発現できるよう、適宜、進捗状況を確認していく。

※目標年度(平成28年度)に未達成となり、目標年度経過後も継続して事業評価を実施する地区。